



2024.6.4

GREEN WIND ASIA

2023年度活動報告



GWA の理念

—受け継ぎつつ、初心に帰る

JSA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)による修復活動が2024年に30周年を迎える。1994年のスタートから10年を経過して、プロジェクトの予算規模が縮小し、アドミニストレーションを担当していたJICEが撤退したため、元来比重の高い修復現場スタッフの保険や福利厚生業務が、これも縮小した日本人現地駐在スタッフの個人的負担でしのがざるをえなくなった。それをカバーするための現地NGOの創設を働きかけ、その活動を支援してきたが、それにも制約があったため、GWAを創設した。側面からのアンコール修復協力が発端であるが、アジアを緑の風が吹き抜けていくような活動でありたいという希望のもとに、日本を含めた幅広い活動を期待した。

早稲田大学建築史研究室は、伝統的に身近な地域の文化財調査に注力してきた。特に住まいに注がれたつくり手や住み手の情熱や工夫を継承し、活かすことに関心が強かったと思う。

他方、アンコール遺跡救済協力はもとより息の長い活動であり、情操豊かで、アンコール遺跡に関心を持つ地域の子どもたちの育成への協力を続けてきたAYFやまなみ塾の活動との連携とその継承は、現在のGWAの中心事業の一つとなっている。

文化遺産の修復は、ある特定の時代と社会の中で、それにかかわった人々の願いや工夫が込められ、それらを営々と維持し、そこで生きてきた人々と共にあるものと向き合うことである。ほとんどの建物は変貌している。それをどのように理解し、どこまで復原し、どのように保存修理するのか。これは分かりきった単なる技術的課題ではない。いわんや未来を担う子供たちに必要なものとは何か。これらの課題は、何れも、先人たちの必死な探究に支えられ、受け継がれてきたものである。また、他から必要とされ、具体的な感謝に価するだけでなく、自らもその探究によって生長し、未知の、しかし本来的自己へと至ることが可能な、真の意味でのボランティアな活動であろう。そこにかつてあったはずの、あるいは新に生まれ出ずるかもしれない初心への創造的回復がある。文化遺産の保存修復と子どもたちの育成への刺激は、同じ地平を目指している。これがGWAの理念である。

理事長 中川武

活動の方針

文化遺産を



守る活動

日本とメコン流域国にて、地域の文化遺産を保全する活動を行っています。



伝える活動

文化遺産の魅力を多くの方に知っていただくために活動しています。



育てる活動

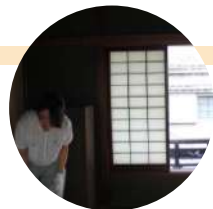
地域の文化遺産を地域の方々に守っていただけるよう、教育支援を行っています。

守る活動



名建築お掃除プロジェクト

「照田家住宅」のお掃除 / 月2回
2015年度より継続



やまなみフリースクール 修繕支援

2023年10月開催



育てる活動



石彫・木炭デッサン ワークショップ

2023年11月開催



アンコール・クラウ村 情操教育ワークショップ

2023年12月開催



やまなみ塾教育支援事業 バイヨン寺院写生大会

2023年12月開催



2023年度の 活動歴

伝える活動



遺跡修復現場 スタディツアー

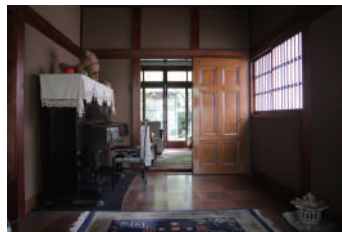
通年開催



4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

9/24 総会 (オンライン)

9/1 理事会 (オンライン)



文化財お掃除プロジェクト

「文化財お掃除プロジェクト」は、2015年度から現在まで継続しているプロジェクトです。

お掃除を通して、名建築を身近に体感しながら維持をしているという活動です。現在は、登録有形文化財の「照田家住宅主屋」について、月2回のお掃除を行っています。

2023年度の 活動報告



守る活動



遊具の損傷や靴箱の不足などがみられました。

村長、現地協力者と協同で修繕計画を立てました。



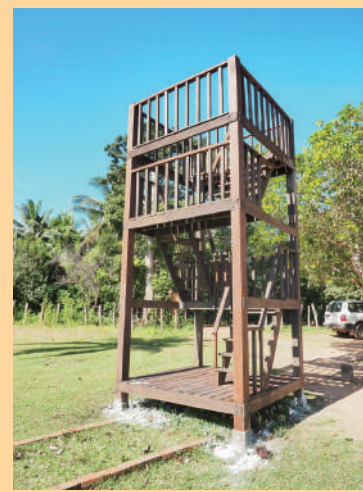
園児の靴箱作製のため、採寸をしている様子

やまなみフリースクール修繕支援

AYFにより2006年に開設されたやまなみフリースクールは、現在アンコール・クラウ村の住民自治により活用されています。

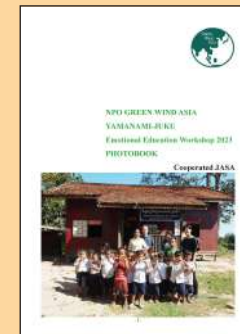
現在までの活動で、施設の損傷や資材不足などがみられ、村の村長や村民と協同で施設の修繕支援を行いました。

村民たちとの協力の結果、遊具や靴箱などが整備され、快適に使用できるようになりました。



アンコール・クラウ村 情操教育ワークショップ

やまなみフリースクール修繕支援によって修繕を行ったフリースクールには、現在周辺住民の園児たちが通園し、村の先生によるプレスクール教育を受けています。2023年12月14日に、通園する園児約25名と、情操教育のためのワークショップを開催しました。



WEBにてフォトブック公開中!!



みなさまからいただいた寄付品を利用させていただき、また一部はフリースクールへ寄付させていただきました。



WEBにてフォトブック公開中!!



育てる活動

石彫・木炭デッサン ワークショップ 2023年度の 活動報告

2023年11月23日にアンコール・クラウ小学校の高学年20名を対象に、石板への彫刻と木炭を使用したワークショップを行いました。

東京藝術大学彫刻科第5研究室の主催で、原真一教授と学生の方々による、専門的な指導が行われました。





伝える活動

遺跡修復現場ツアー

通年で日本からのツアーとして渡航する学生やツアー参加者の希望者に修復現場を案内し、日本が行っている修復の紹介や体験をしてもらいました。

JSA/JASA の協力の元、現地駐在の専門家によるバイヨンインフォメーションセンター、約 30 年にわたって日本が協力しているバイヨン寺院と修復現場、修復現場にて行っている作業の一部を実際に体験していただいています。



やまなみ塾教育支援事業 バイヨン寺院写生大会

2023 年 12 月 15 日にアンコール・クラウ小学校の学生約 30 名と、バイヨン寺院にて写生大会を行ないました。

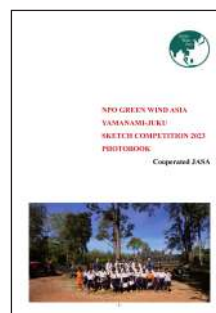
昨年からいただいたみなさまのあたたかいご支援で、今年も盛況に終了いたしました。ご支援いただいた画材の一部は、小学校で今後も使用していただけるよう寄付させていただきました。

2023 年度の 活動報告



育てる活動

WEB にてフォトブック公開中!!



2023年度の 収支報告

日頃より弊団体の活動にご参加いただいている会員のみなさま、ご年会費やご寄付にてご支援くださっているみなさまに心より感謝申し上げます。

2023年度は登録有形文化財「照田家住宅主屋」のお掃除プロジェクトを継続しながら、COVID-19の安定化に伴い、カンボジアにおける教育支援事業をより重点的に行いました。

また、AYFから引き継いだやまなみフリースクールに関しても継続的に支援を行いました。

収支決算書

科目		予算額	決算額	増減
I 経常収益	1 会費	¥250,000	¥110,000	¥-140,000
	2 受託事業収益	¥510,000	¥510,000	¥0
	3 受取寄附金			
	寄付金	¥200,000	¥75,000	¥-125,000
	保存修復技術専門家教育支援 指定寄付金	¥0	¥3,076,860	¥3,076,860
	バイヨン寺院写生大会 指定寄付金	¥0	¥0	¥0
	文化財保護の重要性に関する一般市民への啓発事業 指定寄付金	¥0	¥240,000	¥240,000
	5 利息	¥5	¥10	¥5
経常収益計		¥960,005	¥4,011,870	¥3,051,865
II 経常費用	1 事業費			
	「照田家住宅」維持管理	¥515,000	¥510,000	¥-5,000
	上記振込手数料	¥0	¥4,950	¥4,950
	「やまなみ塾」協力金	¥150,000	¥0	¥-150,000
	バイヨン寺院写生大会実費	¥0	¥160,840	¥160,840
	地域文化建築調査実費	¥0	¥309,998	¥309,998
	オンライン講座制作実費	¥100,000	¥0	¥-100,000
	保存修復技術専門家教育支援実費	¥0	¥57,228	¥57,228
	運営協力謝礼	¥30,000	¥0	¥-30,000
	見学会開催	¥30,000	¥0	¥-30,000
	会議費	¥10,000	¥0	¥-10,000
	広報・印刷製本費	¥50,000	¥0	¥-50,000
	2 管理費			
	ウェブ更新費	¥40,000	¥57,560	¥17,560
	消耗品費	¥5,000	¥0	¥-5,000
	通信運搬費	¥5,000	¥1,266	¥-3,734
	旅費交通費	¥5,000	¥0	¥-5,000
経常費用計		¥940,000	¥1,101,842	¥161,842
当期経常増減額		¥20,005	¥2,910,028	¥2,890,023
III 経常外収益		¥0	¥0	¥0
IV 経常外費用		¥0	¥0	¥0
当期正味財産増減額		-	¥2,910,028	-
前期繰越正味財産額		-	¥1,506,591	-
次期繰越正味財産額		-	¥4,416,619	-

貸借対照表

科目		金額		
I 資産の部	1 流動資産			
	現金預金	¥4,416,619		
	未収金			
	流動資産合計			¥4,416,619
II 負債の部	2 固定資産	¥0		
	1 流動負債	¥0		
III 正味財産の部	2 固定負債	¥0		
	前期繰越正味財産額		¥1,506,591	
	当期正味財産増減額		¥2,910,028	
	正味財産合計			¥4,416,619
負債及び正味財産合計				¥4,416,619

財産目録

科目		金額		
I 資産の部	1 流動資産			
	現金預金(手元)		¥31,734	
	現金預金(銀行)		¥1,958,613	
	現金預金(現地銀行)		¥942,772	
	未収金(照田家)		¥1,483,500	
	流動資産合計		¥4,416,619	¥0
	2 固定資産	¥0		
II 負債の部	1 流動負債	¥0		
	2 固定負債	¥0		
正味財産合計			¥4,416,619	

2024年度の活動計画

守る活動



・文化財お掃除プロジェクト
例年に引き続き、登録有形文化財照田家住宅主屋の維持管理を目的とし、定期的な清掃と点検を行います。

・世界の建築写真アーカイブ
中川武が1970年代後半から撮りためてきた、世界各地のフィルム写真のデジタル化を行います。

伝える活動



・遺跡修復現場ツアー
日本の学校、一般向けパッケージツアーなどを対象に、JSA/JASA協力の元、遺跡修復現場の紹介と保存修復活動の案内を行います。

・JSA/JASA 結成 30 周年イベント
2024年に結成30周年となるJSA/JASAが開催する各種イベントに後援として協力します。GWA会員向けにもお楽しみいただける企画を実施予定です。

・SNS、動画メディアの更新
例年通りの日常的な活動の報告だけでなく、記念イベントに向けたコンテンツを作成し情報を発信します。

育てる活動



・やまなみ塾写生大会の開催
現在まで行っている、カンボジアの小学生を対象とした写生大会を2024年も実施する予定です。

・石彫ワークショップの実施
現在計画段階ですが、東京藝大によるワークショップを今年も開催する予定です。

東京都認証 NPO 法人 GREEN WIND ASIA

設立 2014年12月1日
会員 59名(2024年4月現在)

事業の種類

- ①文化財保護の重要性に関する
一般市民への啓発事業
- ②一般市民および専門家の交流と
相互理解の促進事業
- ③保存修復技術専門家の
教育支援事業
- ④文化遺産周辺地域の
教育支援事業

役員

理事長／中川武
副理事長／小岩正樹
石塚充雅
理事／山岡直子
岡田寛
青山道乃
成井至
監事／酒井智幸
名誉顧問／多賀正夫

事務局

石井由佳 萩原安寿 岩井亮
杉本功太 水野結唯 青山道乃
成井至 宮部有希

最新の活動を
ぜひご覧ください！



Web

<http://greenwindasia.org/>



Facebook

<https://www.facebook.com/greenwindasia/>



Instagram

https://www.instagram.com/green_wind_asia



YouTube

<https://youtube.com/channel/UCqnpCxWjPpuJDt0aYi7DOPA>



NPO法人GREEN WIND ASIA
2023年度報告書

発行
GREEN WIND ASIA事務局

編集
成井至
青山道乃

お問い合わせ
info.greenwindasia@gmail.com